

第18回企業短観調査 (2020年7月)

調査結果

(1) 回収状況

業種	対象事業所数	有効回答数 (回収率)
卸売業	39	3 (7.7%)
建設業	254	16 (6.3%)
小売業	506	21 (4.2%)
サービス業	382	30 (7.9%)
製造業	122	18 (14.8%)
全業種	1,303	88 (6.8%)

考察

●前回調査同様売上・収益共に「減少」が最も高い割合を示した。一部の小売店では特別定額給付金による効果も見られたが、売上見通しは新型コロナウイルスの影響が長期化するとの見方が多く、前回調査よりも10%以上悪化した。

●資金繰り・人手状況については前回とほぼ同様の数値を示した。現在、各企業は持続化給付金や雇用調整助成金を利用し、企業の存続及び雇用の維持に努力しているが、長期化による経済への影響を不安視する見方が多くなっている。国だけではなく、各自治体の助成制度の拡充など求める声も多かった。

